

柿の種 ”フォー!!“

～ 全国柿の種飛ばし大会 ～

第17回全国柿の種吹きとばし大会が11月23日(祝) 農業者トレーニンセンターを会場に、遠くは宮崎県などから総勢800名の参加で行われました。

記録的には過去の記録が良すぎたからなのか、種の問題なのか新記録更新というわけにはいきませんが、人気のHGに扮装した参加者もあり、会場はにぎわいました。



記録よりもうけねらい?

地域のつながりを大切に

～ 地域づくり講演会 ～

11月25日(金) プラザ西伯で南部町の未来を考えようと、講師に帝塚山大学の中川教授をお招きし、地域づくり講演会を開催しました。住民100名を前に中川先生は、地域のつながりを大切にした、面識社会が基本と話をされました。



なかがわいくお
中川幾郎教授(帝塚山大学)

元気ハツラツ!!

～ 富有の里ゲートボール大会 ～

11月20日(日)に今年も総勢80チームが南部町に集い、ゲートボールを通じて交流を深めました。岡山県・島根県からも参加があり、特産品の富有柿が好評でした。



ねらいをさだめて

昔をなつかしむ

～ 江原で草履づくり ～

江原のいきいきサロン「きらく会」で11月24日(木)に家に眠っている布切れを再利用して、草履づくりが行われました。

代表の藤田さんが淀江の夢温泉で見かけ、なつかしく思ったのがきっかけでした。

お互いにあれこれ言い合いながら、出来たものは色も多彩で、大きさもさまざまとなりました。みなさん「出来た草履は家で履きます」と話をされました。



足を上手に使って

まちの 話題

地域の発展に貢献

～ 商工会が合併調印 ～

11月4日（金）に西伯、会見両町商工会の合併調印式が総合福祉センター「しあわせ」で行われました。県内で三番目の合併調印となり、これにより、来年4月1日の合併が決定しました。

式では、調印のあと、両町商工会の会長が「地域社会の発展に商工会として貢献していきたい」と新組織に向けた決意を述べました。また、来賓の県商工会連合会の吉田会長は「商工会に求められている役割、存在意義を十分認識していただきたい」と激励されました。



田中会長（西伯）と広田会長（会見）

見とこ。知つとこ。

日々好日

みんなの南部

みんな楽しみました

～ ザ・ふれあい芸能inさいはく ～

手作り芸能大会の「ザ・ふれあい芸能inさいはく」が11月20日（日）に西伯小学校体育館で行われました。

会場は毎年この芸能大会を楽しみにしている観客でいっぱいになり、出演者も一年間かけ、芸に磨きをかけた演技を披露しました。

平成の芝居小屋「朝日座」で公演した、歌舞伎、芝オケは、その芸術性の高さをアピールしました。



踊りにも熱が入ります

古代の人はこんな感じ？

～ 諸木古墳まつり ～

中山間地域活性化事業の指定を受けている諸木地区で、11月13日（日）古代の生活を体験してみようと古墳まつりを行いました。

諸木区内には、県下でも珍しい埴輪の出土した後塔山古墳があることからこの祭りを思いつきました。

古墳についてクイズで学び、火おこし体験をしたり、古代米を食べたりと、気持ちも古代人に近づきました。



古代米を竹筒でおいしく炊きます